

平成28年2月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成28年2月23日(火) 午前9時00分 ~午前10時20分

2. 会場 : 白井市役所 白井庁舎3階 301会議室

3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代

教育委員長職務代理者 野上 美智子

委員 渡辺 義弘

委員 神田 岳委

教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校教育課長	小坂 一弘	学校給食課長	斎藤 隆生
教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久	社会教育課総括課長代理	口石 愛
学校教育課課長代理	斎藤 正雄	教育総務課副主幹	宇都宮 律子

5. 傍聴人 白井市 木下 裕章

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白井市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。今回は1名の傍聴希望者がいます。白井市の木下さんです。傍聴に関しては、白井市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、委員長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにしたいと思いますが、傍聴について許可してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(委員長)

それでは傍聴を希望する1名について傍聴を許可します。

(傍聴者1名入室)

(委員長)

これより白井市教育委員会、平成28年2月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。会議録署名委員に、神田委員、渡辺委員の2名を指名いたします。

今回、次第4の学力向上のうち、「平成27年度白井市基礎・基本テストの結果について」を非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は、挙手をお願いします。

(全員の挙手あり)

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

おはようございます。いよいよ2月も終わりが近くなりました。今年度もあとわずかです。3月1日からは市議会も始まりまして、明日が一般質問の通告日となっておりますので、また教育委員会への質問があるかと思っています。今月は嬉しい事もありました。後ほど報告もあるかと思いますが、まず教育実践者の表彰がありまして、野津中学校の中島教諭が表彰されました。それから早速この2月行事報告に入りますが、1日に読書活動コンクール受賞報告がありまして、上北小学校と市浜小学校の代表が来ました。右側に記載していますが、上北小学校は授業実践最優秀校、市浜小学校は読み聞かせの「きずな」が優秀賞をいただいております。同じ日に校長、教頭資格合格者面談いたしました。今年は資格登載ということですが、校長が2名、教頭が6名登載されたということで大変嬉しいことだと思います。その日から教育委員会事務局職員のヒアリングを行っています。毎年この時期に年度の総括と次年度について職員のヒアリングを行っています。3日に協育ネットワーク連携研修事業終了式とあります。これは今年度から社会教育課で取り組んでいる「協育ネットワークづくり」がありますが、これに向けて協育コーディネーターの研修も兼ねて、県の「おおいた学びの輪推進事業」の指定を受けて年間行事をしました。それでこの日が終了式ということで、今年度の取り組み等についての総括として実施しました。4日は右側に米印で書いておりますように、臼杵市学力テストの結果が判明しました。これは後ほど説明があります。6日に臼杵石仏国宝指定20周年記念のシンポジウムを、連携協定を結んでいます別府大学と共同で開催しました。国宝指定20周年を受けて、様々な行事を実施してきました最終総括という形でシンポジウムを別府大学で実施いたしました。臼杵市から40名弱参加していただいて、大正初めに石仏が発見されて100年ほど経ちますが、その間の色んな人のまなざしということで皆さんで話し合いました。歴史資料館館長の菊田さんから、当時石仏を担当していて国宝指定された背景など、面白い話も交えながらパネルディスカッションの中でお話をいただきました。10日は中体連研修会がありまして、私は懇親会の方に出席させていただきました。臼杵高校野球部の山本監督にお話をいただき、皆さん熱心に聞いておられました。12日は社会教育委員会議がありまして、平成28年度の基本方針について話し合いがありました。後ほどまた触れますけれども、特に今年度は協育ネットワークづくりに取り組んできました。また読書のまちづくりプランの推進について、それから社会体育についてはウォーキングを中心に市民への推進と、スポーツ推進計画に基づくスポーツの推進ということで、新年度基本方針を定めています。14日の日曜日ですけれど、日本水泳連盟の青木会長が佐伯市出身ということで、1964年の東京オリンピックで山内流が公開演技をしておりまして、2020年のオリンピックでもぜひお願ひしたいということで、市長と山内流游泳所長の私と、臼杵の水泳連盟会長の志村県議の3人の連名でお願いにあがりました。これも後ほどご説明があります。15日は定例校長会がありまして、学力テストの結果ですね、これも後ほどお話がありますけれども、中学校の状況があまり芳しくないことと、それから年に2回、職員のストレスチェックがあるんですが、後半の分が2月末までとなっているので、しっかりと全員がチェックできるようにお願いいたしました。特に年度が替わる3学期も終わりに近付き、先生方も色々な負担を感じていると思いますので、管理職として職員の状況を把握するようにお願いいたしました。それから中体連で九州大会や全国大会へ出場する子ども達の報告会がありまして、6競技25人が出場するということです。夏の時は女子ばかりだったんですが、今回は男子7名、女子18名で男子も頑張っているようです。16日に3つのきよ

う育振興会議がありました。これは今年度の事業のまとめ、学校教育課と社会教育課の取り組み等の報告、次年度の取り組みとそれに対するご意見をいただきました。 18日に総括学校安全衛生委員会で今年度の総括と次年度に向けての話し合いをいたしました。安全衛生委員会は年間3回行っておりまして、職員の健康管理も含めて、色々なご意見をいただきました。各学校の安全衛生委員会もしっかりと行われているということですが、問題は職員の健康管理のチェックがしっかりと行われているか、ということかなと思います。 19日は右側に書いていますが、南津留地区区長会長から要望をいただきまして、内容はまた後ほど説明がありますが、南中学校の存続についてということです。地域の学校として潰さないでほしいということです。 この日は県立高校の一次入試の締切ということで、新聞でもご覧になつたかと思いますが、臼杵高校は推薦枠20人を除いた定員180人に対して、応募が200人ありました。今週末が一次の変更締切となっていますので、今後まだ変動があると思いますが、20人オーバーというところです。 昨日22日は県内一周駅伝が始まりました、新聞をご覧になつたかと思いますが、初日は5位でした。ちょっと出遅れていますが、まだ今日を含めて4日間ありますので、選手の頑張りに期待したいと思います。今日は雨の中で竹田は少し寒いかもしませんが、頑張ってくれることを期待します。 今日は定例教育委員会で、この後、午後から文化財調査委員会がありまして、平成27年度の事業報告と来年度の事業について、今の文化財の在り方についてご意見いただこうかと思っています。特に文化財台帳について、合併して10年になるんですが、きちんと台帳整理されていないので、それを今年度から見直しをして進めています。後ほど予算の説明の中でもあるかと思います。明日ですが、垂井委員長も出席されますが、海洋科学高校の単独校化について、関係諸団体と共に県教育長へ要望に行ってまいります。これも後ほど説明があります。 29日は図書館協議会が開催される予定です。これもこの時期全てそうなんですけども、今年度の事業報告と来年度の取り組みについて、基本方針を定めることになっています。今年は第2次読書のまちづくりプランができましたので、これに基いて進めていくということになろうかと思います。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願ひします。

(無しの声あり)

8. 協議事項

(委員長)

それではこれより次第3の協議事項に移ります。

第2号議案の平成28年度当初予算についてご説明をお願いします。

(教育次長)

平成28年度当初予算についてご説明いたします。1日から3月定例市議会が始まります。その議会に提案するために議決を求めるものです。各課から順番にご説明いたします。

資料の平成28年度臼杵市一般会計当初予算重点事項というものがあります。1ページ目は歳入となっておりますがこちらは省略させていただきます。歳出の方ですけれど、経常経費等は省略させていただいて、主なものをご説明いたします。 4ページをお開き下さい。まずは教育総務課からですけれども、5番の設計委託料3,700,000円ですが、今年度で学校の構造体の耐震化は終了いたします。来年度から30年度にかけて、教室等にある備品やテレビなどの非構造部材の耐震に取り組みたいと思います。28年度については、市浜小学校と西中学校の校舎の非構造部材の耐震化について、調査と設

計を行う予定です。 7番・9番・11番についてですが、今学校の先生方と結んでおります、コンピューターのネットワーク更新の時期に来ておりますので、その更新のための費用を計上しております。 次に5ページの18番をご覧ください。中学校空調設備整備事業で、予算額が87,838,000円とあります。これは念願でありました、中学校のエアコンの整備について、来年度から2カ年の計画で整備をして行きたいと考えております。来年度につきましては、その中でも特に暑い野津中と西中の教室について、整備を始めたいと考えております。教育総務課については以上です。

(委員長)

次に学校教育課よりご説明お願いします。

(学校教育課長)

学校教育課の予算についてご説明いたします。 まず5ページの22番の賃金ですが、特別支援教育総合推進事業ということで、44,086,000円計上しております。この中でスクールソーシャルワーカーを来年度、新規で雇用することにしております。また、不登校問題や生徒指導の問題等ありますけれど、いずれにしても学校にきっかけや原因があるものよりも、家庭などに問題がある事案が多くなっておりますので、スクールソーシャルワーカーを導入して、先生方がどういう風な解決をするかというプランづくりや、家庭に入っていただいたり、関係機関と繋いでいただいたりというような役割をお願いしたいと考えています。スクールソーシャルワーカーについては、現在県と打ち合わせておりますが、週2回、1日6時間という勤務を考えております。後は特別支援教育支援員を27人と、白杵小学校にいる中国から転校してきた児童への日本語支援員1人について予算要求しております。 27番は講師謝礼を計上しております。学習サポーターについてはこれまで取り組んで参りましたが、小学校の英語必修化に伴って、特別非常勤講師への謝礼を新たに計上しております。2020年から小学校の英語が必修化になります。今は月1回小学校5・6年生に入っているところを、月2回入って充実に努めようということにしております。この非常勤講師につきましては、今年度小学校を退職される教諭を充てることを考えております。 次のページの28番をご覧ください。小中一体教育推進事業ということで、これにつきましては今年度全市展開を行いましたが、来年度さらに充実させるための予算として、中学校単位で乗り入れ授業や交流事業を実施しますので、その講師謝礼、消耗品、印刷製本、車借上料を計上しております。 37番の業務支援等委託料をご覧ください。これにつきましては、今年度中学校にICTを購入いたしました。小学校についても計画的に購入しておりますが、来年度4月に導入が終わります。実際に授業どのように活用したら良いのかということで、教材の会社でありますベネッセから講師に来ていただいて、実際に授業での使用について指導していただくように、6ヶ月の契約で小学校と中学校に月に4回ずつ来てもらいます。小学校は1校、中学校は2校指定して、来年度4月から取り組んで行きます。 次のページの41番の器具費についてです。これは今言いましたように、ICTの導入ですが、小学校がこれで最後になります。佐志生小・下ノ江小・野津小・川登小の4校に導入します。それからもう一つ、中学校へデジタル教科書を英語・理科・数学について導入して行きたいと考えています。以上です。

(委員長)

次に社会教育課よりご説明お願いします。

(社会教育課総括課長代理)

社会教育課よりご説明いたします。歳出番号56番からです。主なものと新規の事業について説明させていただきます。まず9ページの66番をご覧ください。中央公民館の大規模改修事業というところで、大ホールの吊天井と音響、長年の要望事項でありましたトイレの改修1階2階全てを行うよう予算計上しております。67番の野津中央公民館大規模改修事業ですが、野津中央公民館の大ホールの改修について実施設計、オイルタンク、屋上防水等の改修事業を計画しております。10ページ74番は図書館の関連となります。今年度図書館をリニューアルオープンしまして、文庫改修も終わりました。後は端末の改修ということで、一連の改修事業が終了する予定です。76番から79番につきましては協育ネットワーク事業ということで、今年度より社会教育課が一番力を入れてやって来た所になります。来年度も特に77番の家庭教育支援事業に力を入れてやって行きたいと考えております。これにつきましては、歳入14番の国・県の補助をいただきながら実施する予定となっております。11ページをご覧ください。86番デジタル化整備委託料ということで、公民館の方に郷土資料8ミリ映像や、古い録画ビデオ等がそのままにされておりまして、その中には各地域の古い踊りなどの貴重な資料がありますので、このままだと継承することができなくなるということですので、今年度予算計上しまして、デジタル化を行いたいと思います。88番の施設補修工事費ですが、これは戸室台集会所の屋根補修ということで、臼杵市の同和人権教育の拠点という位置付けにあります、戸室台集会所の屋根補修をする費用を計上しております。94番はスポーツの関連になりますが、市体育協会の活動費に対する補助金として、10,500,000円を計上しております。12ページの97番です。設備設計・調査委託料ですが、諫訪山体育館は臼杵市の屋内スポーツ施設の拠点ということで、施設と設備の調査委託を計上しています。改修工事を今後どういう風にしたら良いかということを調査して、計画を作つて行きたいと考えています。98番の耐震補強調査等委託料ですが、戸上の地域体育館について、全く耐震性が無いことと、利用率も高いのでどの程度補強ができるのかということを調査して、実施設計をしていただくようにしております。106番の野津吉四六ランド施設指定管理委託料についてですが、28年から31年までの間、指定管理を行つていただくことになっております。最後に107番の施設改良工事費ですが、吉四六ランドの芝張替と散水栓の改修工事、それから吉四六の家が新しくなりましたので、古いものの撤去費用を計上しております。以上です。

(委員長)

次に文化・文化財課よりご説明お願いします。

(文化・文化財課長)

文化・文化財課については次の13ページをご覧ください。112番の講演委託料2,615,000円です。説明欄にWA-OTOコンサートとありますが、WA-OTOとは竹宵等でもコンサートを行っていますが、中西圭三さんというシンガーソングライター、篠笛の狩野さん、ピアノの宮本さんで結成されたユニットです。このコンサートを市民会館の自主文化事業で来年度行います。113番の市民会館施設改修事業4,930,000円ですが、築23年経ちまして老朽化している市民会館の優先的にやる必要がある所を、来年度施設工事改修費用として計上しております。119番の調査委託料ですが、先ほど教育長報告の中ありましたけれども、今年度と来年度の2カ年かけて文化財台帳の整備を行います。それに伴う調査を専門業者へ委託して行います。122番の文化財保存事業補助金4,898,000円ですが、県指定・市指定の文化財修復事業がありまして、それぞれ所有者の事業指定になります。右側の説明欄にありますように、貝合わせ補修事業費680,000円、月桂

寺経蔵修復事業 2, 125, 000円の2件については、県指定となりまして県からも補助金が出ます。残りを市と所有者で負担するという事業になります。それから、来年度新たに見星寺賢巖禅師像修復事業に 2, 073, 000円、泊ヶ内一石五輪塔屋根修修繕事業に 20, 000円の2件については市の指定となりまして、市が2分の1、所有者が2分の1の負担割合となります。 15ページをご覧ください。136番の設計監理委託料 4, 223, 000円ですが、これは臼杵石仏の第3期保存修理事業になっていますけれども、その一端でホキ1群の覆屋の工事に伴う実施設計をやる費用となっています。137番が国宝臼杵磨崖仏着生生物類除去事業 6, 889, 000円です。これは継続してやってますけども、紫外線をあててコケなどを枯死させてクリーニングする作業です。 140番地域の特色ある埋蔵文化財活用事業ということで 2, 720, 000円計上しております。これも継続事業ですが、下山古墳や臼塚古墳などの解説板や案内標柱が劣化してきておりますので、修復したり更新したりするという事業です。以上です。

(委員長)

次に学校給食課よりご説明お願いします。

(学校給食課長)

学校給食課です。 15ページをご覧ください。まず146番の賃金 48, 210, 000円ですが、臨時職員は臼杵 13名と野津が 6名、非常勤職員は臼杵が 4名と野津が 2名、パート職員は臼杵 6名の雇用をしております。147番の燃料費及び光熱水費につきましては、臼杵・野津両センターの電気ガス水道と、配送車の燃料代も入っております。 次に 16ページをご覧ください。152番公用自動車運行業務及び運搬等委託料 13, 974, 000円ですが、臼杵については臼杵地域の小学校 10校、中学校は野津中を入れた 6校と幼稚園 1園にかかるもの、それから野津につきましては、川登小と野津幼稚園は野津運送さん、南野津小と野津小はシルバーパートナーさんに委託しております。 155番の施設補修工事費につきましては、臼杵はボイラー室の軟水器の交換ほか老朽化に伴うもの、野津につきましては洗浄室のエアコン設置等になっております。 156番の器具費についてですが、臼杵で今回一番大きいのは、食缶用の消毒保管庫と食缶の更新に係るもの、野津は肉野菜用の冷凍庫の入れ替えと、給食配用のコンテナが老朽化しているのでその更新となっています。以上です。

(委員長)

28年度の当初予算についてのご説明が終わりました。何かご質問がある方はいませんか。

(無しの声あり)

(委員長)

第2号議案については、承認することによろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは第3号議案の平成27年度補正予算についてご説明をお願いします。

(教育次長)

では第3号議案の平成27年度補正予算についてご説明いたします。

お手元の平成27年度3月補正予算重点事項説明資料をご覧ください。歳入は省略させていただきまして、次のページの歳出からご説明いたします。教育総務課の3月補正予算につきましては、ほとんど事業の確定に伴う精算となっています。その中でも2番と5番の修繕料については、小学校と中学校のものを計上しております。これは1月24日と25日に寒波がありました。事前に学校には水を出したままにしておくように指示していたんですが、それでも外にあるプールなどの水道管が凍結して破裂しまして、ほとんどの学校で漏水がありました。その修繕料を計上しております。以上です。

(委員長)

次に学校教育課よりご説明お願いします。

(学校教育課長)

学校教育課は歳出の7番から10番までですが、予算の確定による減額となっております。以上です。

(委員長)

次に文化・文化財課よりご説明お願いします。

(文化・文化財課長)

文化・文化財課は11番と12番です。いずれも事業の確定に伴う減額です。11番は広原地区における文化財発掘調査事業において、報告書を作成する費用の確定に伴う減額です。12番は市内緊急調査事業ですが、主に下藤地区のキリストン墓地調査や建物を建てる際の発掘調査などですが、これも事業費の確定に伴う減額となっております。以上です。

(委員長)

次に社会教育課よりご説明お願いします。

(社会教育課総括課長代理)

社会教育課です。13番の放課後チャレンジ事業の中の中3生放課後教室に関して、まだ今週まで授業をやっておりますので確定ではないんですが、放課後教室未実施であった学校や回数が少なかった学校がありましたので、この時点で減額しました。14番の市体育協会補助金ですが、現在九州大会以上に出場する選手の皆さんに助成をしておりますが、体育協会を通してしています。25年度までは100人くらいで推移していたのですが、昨年と今年は150人ということで、活躍する選手が増えておりまして、これに伴う補正ということで計上しております。15番の芝生管理委託料ですが、これは事業費確定による減額です。以上です。

(委員長)

次に学校給食課よりご説明お願いします。

(学校給食課長)

学校給食課は16番と17番です。16番の賃金につきましては、臨時職員や非常勤職員の退職などもあり、今年度の支払見込み額が確定しましたので減額しております。17番の公用自動車運行業務委託料につきましては、行事等で給食が無い日などもありますので、減額が発生しております。以上です。

(教育次長)

その下の繰越明許費と、債務負担行為につきましてご説明いたします。

繰越明許費につきましては、福良小の増改築工事をしておりますが、外構工事については年度内に完了する見込みが怪しくなりましたので、提案しております。次の債務負担行為ですが、中学校空調設備設置につきましては、せっかく予算が付きましたので、今年の夏までには工事を完了させて、使えるようになさるといふことで、今年度契約して、来年度すぐ工事に入りたいと考えております。

(社会教育課総括課長代理)

同じく債務負担行為で野津吉四六ランド指定管理委託料につきまして、28年度からということで、先ほど当初予算でも触れましたが、3年間の委託契約となっておりますので今年度契約を行います。この金額を3で割っても割り切れないんですが、29年度から消費税が10%になるということを見込んで計算しております。

(委員長)

27年度の補正予算については額の確定による減額がほとんどのようですね。何かご質問がある方はいませんか。

(無しの声あり)

(委員長)

第3号議案については、承認するということでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

9. 学力向上について

(委員長)

それではこれより次第4の学力向上に移ります。

次第4の学力向上については非公開といたしますので傍聴人の方は退席をお願いします。

(傍聴人退席)

(委員長)

他になければ、次の教育予算等に移りましょう。

次第5の教育予算等に移る前に傍聴人の再入場を認めます。

(傍聴人再入場)

10. 教育予算について

(委員長)

次第5の教育予算等ですが、平成28年度臼杵市社会教育基本方針（案）と平成28年度臼杵市社会体育基本方針（案）についてご説明をお願いします。

(社会教育課総括課長代理)

お手元にお配りしております資料に沿って、ご説明させていただきます。まず、平成27年度臼杵市社会教育基本方針という資料をご覧ください。今年度社会教育課がどういう事をやってきたかという現時点でのまとめです。これに基いて28年度を作った訳ですが、27年度は特に「学校・家庭・地域の協働で子どもの生きる力を育む社会づくりを目指す」ということで協育ネットワークの構築に取り組んでまいりました。重点目標として「学校に必要とされる学校支援活動の確立を目指します」というのを27年度定めておりました。次のページをご覧ください。27年度の社会教育課の主な事業の一覧表があります。これは以前の教育委員会でもご説明させていただきましたが、真ん中の円にあるように「協育コーディネーターを配置し、協育ネットワークを構築します」というのを、27年度重点に取り組みますということを説明しております。その後3ページからが、協育ネットワークでどうということをやってきたのかという、取り組みの内容を書かせていただいております。皆で協力して子どもを臼杵の中で育てて行こうということで、協力の「協育」というのを使っておりましたが、社会教育課で活動する中でその協力して教育をするだけでなく、皆で響き合う「響育」、3つのきょう育にもありますが、この響き合う教育の響育まで繋げて行くことが大切なではないか、という所に現在辿り着いている状況です。4ページをご覧いただきますと、地域で連携して協力するというのが、教育基本法第13条や社会教育法の第3条・第5条に位置付けられておりますので、参考のために添付しております。6ページ、7ページは以前もお話した通り、こういうメンバーで取り組んできましたという内容です。9ページをご覧いただきますと、今回の協育コーディネーターの記録ということで毎回どういう活動をしたかというのを抜粋しております。10ページからは、学校支援をコーディネートした内容、13ページからは読書活動をコーディネートした内容、16ページからは放課後をコーディネートということで、放課後や土曜日や長期休暇をコーディネートした内容が、写真を見てわかるようになっております。19ページからは、親育ちをコーディネートということで、家庭教育の支援に取り組んでおります。こういう取り組みをする中で、今後の方向性ということを20ページ以降書いておりますので、お時間のある時にご覧ください。22ページをお開き下さい。「学校がやりたいことに対して地域に協力を求めるコーディネート」、「地域がやりたいことに対して学校に協力を求めるコーディネート」、この双方向の絆を築いて行くことが、協育ネットワークの構築に繋がるんではないかと思っております。また「親育ちをコーディネート」の今後の方向性は23ページからとなっています。これらの実績についてまとめたものが、28ページに今年度の学校支援や家庭教育支援実績ということで、2月15日までですが、こういう所でこういう活動をしていますということと、参加していただいた人数が2,289人、協育ネットワークへの協力者が延べ93人となっていることなどを載せております。それ以降につきましては、

放課後子ども教室の参加者数や、今年度始めました中3生の教室についての実績を載せています。これらの取り組みを、今年度は社会教育課の職員がお互いに持てる力を充分發揮して協力し、職員同士で響き合いながら子ども達に還元するという活動をして参りました。その結果で28年度の社会教育基本方針案を作成しております。もう一冊の資料をご覧ください。教育委員会の方針が定められておりますので、社会教育課の方針ということで作っています。「協育ネットワークづくりの推進による臼杵っこの育成」ということで、「学校・家庭・地域が連携して、将来の臼杵を担う子どもを、臼杵市民みんなで見守り、育てるしくみづくりを行う。大人も子どもから元気をもらい、自らも学び、生きがいづくりにつながる双方向の関係づくりを行う」というのを28年度の課の方針として考えております。2ページ目と3ページ目をご覧ください。その中で特に「社会教育・社会体育の方針」ということころですが、1から3までが社会教育、4が社会体育となっております。「協育コーディネーターを核とした学校・家庭・地域・行政との連携」、「家庭教育（親育ち支援）の充実」、「社会体験を通じて意欲をコミュニケーション力のある臼杵っこの育成」、「健康や体力づくりのための1人1スポーツの推進」、これは臼杵市スポーツ推進計画の策定が出来ましたので、この推進をして行くということです。この4本を社会教育の方針ということで定めております。公民館の方針、社会人権・同和教育の方針につきましては、27年度を継承していく形で、文書は若干変えておりますが大きな方針に変更はありません。図書館の方針としましても、今年度第2次うすき読書のまちづくりプランが出来ましたので、この推進を図って行きたいと考えています。この第2次プランが「本が大好き、臼杵大好き、臼杵っこを育てよう」ということをテーマにしておりるので、この方針に沿ってやって行きたいと考えています。この方針に従いまして、重点目標及び具体策というのを5ページ以降に書かせていただいております。そして1番最後に付けているA3の用紙が、28年度の主な事業一覧となっております。また来月、方針については他の課と一緒にご説明する機会があるということですので、ご覧になっていただき、ご意見やご提案などありましたら教えていただきたいと思っています。以上です。

(教育総務課総括課長代理)

今社会教育課よりご説明がありましたように、この案件につきましては、3月定例教育委員会におきまして、議案としてご提案いたします。ご意見やご提言等がありましたら、社会教育課または事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

(委員長)

28年度の各課の基本方針の際に、またご説明があるということですが、それぞれお読みになって、質問やご意見などありましたら早めにということです。よろしくお願いします。

11. その他

(委員長)

それではこれより次第6のその他についてです。

平成28年度入学予定者における区域外通学及び小規模特認校の申請件数についてご説明をお願いします。

(学校教育課長)

資料は「区域外通学申請者理由内訳」というのをご覧ください。まずは今年度から弾力化された所を説明します。中学校の中で「教育的配慮」というのが9名います。その中で「隣接区域の方が通学距離

が短い」という理由が6名、西中から南中に3名、西中から北中に2名、西中から東中に1名という内訳です。それから部活関係で2名、北中から西中に1名、東中から西中に1名です。この2名につきましては北中から入る人は男子、東中から入る人は女子ですが、いずれも部活動は柔道です。その他ということで北中から西中へ1名入りますが、これについては通級指導を小学校で受けているので、中学校でも受けたいということで西中を選んでおります。小学校は省略して、その下の小規模特認校の所をご覧ください。小規模特認校を活用して南中または臼杵南小へということなんですが、中学校は西中から南中へ2名となっております。これにつきましては、2名とも男子、1名につきましては発達障害のお子さんで、もう1名は大人数が苦手なので少人数で細やかなということで希望しています。小学校の野津小から臼杵南小へという児童につきましては、臼杵南小が自然豊かであるとか、地域との密接な連携での行事活動をしているとか、そういう校風に惹かれてという理由だそうです。市浜小からの1名は支援学級在籍の児童で、市浜小にも支援学級はあるんですが、どうしても人数が多いということで、より少人数のところを希望したということです。以上です。

(委員長)

何かご質問がありましたらお願いします。

(なしの声)

(委員長)

それでは次の平成28年度市立幼稚園の入園希望者数についてご説明をお願いします。

(学校教育課長)

続けてご説明いたします。先ほどと同じペーパーの一番下の欄をご覧ください。臼杵幼稚園が新入生の年中が5名で、年長が10名となっております。野津幼稚園の方が10名となっておりまして、かなり人数的には少なくなっております。やはり保育料の値上げ等が影響しているのかなと思います。

(委員長)

何かご質問がありますか。

(なしの声)

(委員長)

それでは次の平成27年度大分県教育実践者表彰と校長、教頭試験の結果についてご説明をお願いします。

(学校教育課長)

教育実践者表彰は、先ほど教育長報告の中にもあったかと思います。今年度臼杵市からは、野津中学校の中島陽子先生が表彰を受けました。資料は全県の名簿と表彰の次第などがあるものです。具体的にはこの資料をお読みください。もう1名、同じく野津中の下山教諭についても推薦しておりました。ソフトテニス全国準優勝ということで卓越した指導力がありますが、県教委からの連絡によりますと、同じ学校から2名の表彰は難しいので残念ながら今回の表彰には至りませんでした。

管理職試験についてですが、A4横のペーパーをご覧ください。今年度校長については小学校1名、中学校1名が合格ということで、一番下に2名の名前を掲載しております。配置についてはこれからと

いう事になります。2枚目をご覧ください。教頭の方も有難いことに、今年度は6名合格しました。小学校2名、中学校4名ということで、昨年度はゼロだったので大変喜んでおります。この配置についてもこれからとなりますが、1名でも多く臼杵市の方に残留できるようにしたいと思います。以上です。

(委員長)

続いて日本水泳連盟会長への要望書についてご説明をお願いします。

(社会教育課総括課長代理)

要望書という資料をご覧ください。1ページめくりますと、要望の内容をそのままコピーして添付しております。現在スポーツ庁長官になられました鈴木大地さんが、山内流を気に入ってくれたって、8月14日の第一回水泳の日に東京で公開演技をさせていただいております。それも踏まえまして、2020年のオリンピックの開会式でも、公開演技をさせていただきたいという内容の要望書となります。今後まだ時間がありますので、様々な活動をして行くようになると思います。以上です。

(委員長)

その他に何かありませんか。

(教育次長)

お手元に南津留地区からの要望書のコピーをお配りしています。これは先ほど教育長の報告にもありましたように、南津留地区区長会長からの要望がありました。今現在小中学校の適正配置計画については、教育委員会の方で検討しておりますけれども、これについて南中の存続について要望書が来ております。現在は小規模特認校となっておりますので、それをさらにPRしてほしいということと、特色を出ず工夫を考えていきたいということで、更なる発展と存続を要望したいとのことです。以上です。

(委員長)

他にご意見等はありませんか。無ければ以上で、平成28年2月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
